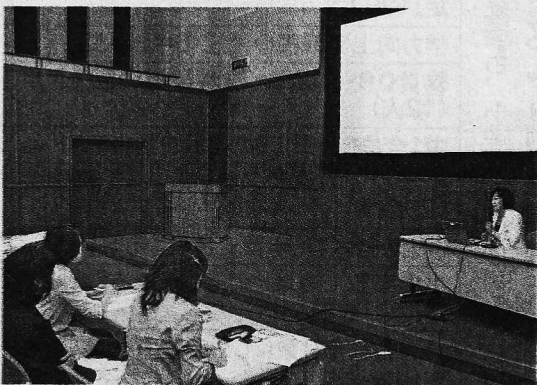


「今できることで復興を」

AMD Aなど 被災地職員が報告
岡山で講座

岩手県大槌町でのAMD Aの活動
が報告された公開講座



岡山県立大大学院 MDA (岡山市北区伊
福町) による公開講座
(総社市窪木) と国際
医療ボランティア・A
「災害セミナー」が15

日、岡山市内であり、東日本大震災で自らも被災しながら、地元の岩手県大槌町でAMD A職員として鍼灸ケアを続ける佐々木賀奈子さんが被災者の様子などを報告した。

津波にのまれ、かろうじて生還した佐々木さんは、AMD Aが昨年、同町に設けた健康サポートセンターで活動。「来所者が多く、鍼灸台が1台のため、2週間待ちの状態。設備拡張を検討している」と報告した。

さらに、鍼灸などで体の痛みは取れても、心のつらさを取り去るのは難しいと指摘。センターでは園芸や体操教室などにも取り組んでいることに触れ、「私たちが今できること、すべきことをやり抜き、復興につなげる」と述べた。市民や学生ら約80人が聴講した。

(内田圭助)